



平成27年12月25日

各 位

上場会社名 株式会社 小島鐵工所
 代表者 代表取締役社長 児玉 正蔵
 (コード番号 6112)
 問合せ先責任者 取締役執行役員経理部長 田中 教司
 (TEL 027-322-1221)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年6月26日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年11月期通期個別業績予想数値の修正(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,000	1	10	136	13.60
今回修正予想(B)	2,032	△40	△21	197	19.80
増減額(B-A)	32	△41	△31	61	
増減率(%)	1.6	—	—	44.8	
(ご参考)前期実績 (平成26年11月期)	1,446	△450	△425	△159	—

修正の理由

当社の主製品である大型油圧プレス機は、形状、能力、機能のほか、納期、一台当たりの金額もそれぞれ異なる個別受注生産でありますので、月単位での売上は一定しておらず、季節的変動によるものでもなく、納期的、金額的なバラツキにより売上の変動が大きく、また、当社製品が大型機械ゆえ、設計・生産着手から納品・据付まで平均して1年程度を要するため、受注から売上計上まで相当期間のズレが生じてしまうのが当社事業の特性であります。

このような事業の特性を持つ当社におきまして、売上計上につきましては一部工事進行基準を適用いたしておりますが、当115期通期における売上高につきましては、受注残の消化が順調に推移し、売上総額では前回予想数値20億円及び前年同期14億46百万円を共に上回る20億32百万円と増加する見込みであります。

利益面につきましては、良質物件の売上増加や生産管理の徹底でコスト削減に努めた結果、当115期通期におきましては、当第2四半期累計期間までの営業損失1億35百万円から当期営業損失40百万円に、及び当第2四半期累計経常損失1億22百万円から当期経常損失21百万円にと損失範囲ではありますが大きく回復できました。

また、前年比較におきましても、前年同期営業損失4億50百万円から当期営業損失40百万円に、及び前年同期経常損失4億25百万円から当期経常損失21百万円に大きく改善出来ましたが、遺憾ながら前回発表の経常利益業績予想数値10百万円に及ばない見込みであります。

しかしながら、当期純損益では、特別利益(固定資産売却益)の計上により前年同期純損失1億59百万円を上回る当期純利益1億97百万円を計上できる見込みであります。

受注状況につきましては、当期の受注高は、受注競争激しい中にありながらも主に海外からの大型・中型製品の受注により、前期17億70百万円を上回る18億52百万円の受注を確保できましたが、受注残高につきましては、受注の順調な消化と一部企業の受注成約足踏み傾向がみられ、前期末13億27百万円から11億47百万円へと若干減少しております。現在、鍛造・製鉄・自動車関連向けにおいては、増加基調の明るい傾向が継続しており、国内外を中心に引き合いが浮上している大型案件の成約に向け努力し、一層の受注増加を目指し、翌期の売上増加に期待をにかけているところでございます。

* 上記予想は、現時点に於いて、入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって、予想数値と異なる結果になる可能性があります。

以上